

金魚のお家をつくろう

- 1 水槽は直射日光の当たらないところに置きましょう。また水を入れると大変重くなります。専用の台を利用しましょう。
- 2 ライトは金魚を美しく観賞することができますが、健康のために定期的な点灯・消灯を心掛けましょう。点灯は8時間以内が目安です。

飼育用具

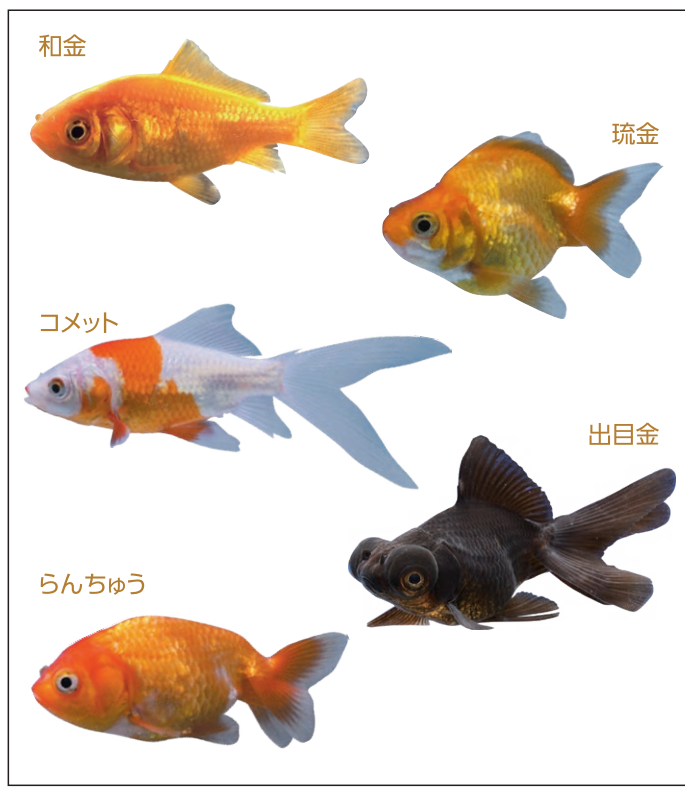
- 1 フィルター：フンやエサの残りを取り除き、水をきれいになります。口材にはウールマットのほか活性炭や専用口材を使いましょう。
- 2 エアープンプ：水中に空気を送ります。金魚も酸素が足りないと死んでしまいます。水槽より高い位置に置きましょう。
- 3 底砂：観賞魚用の砂利を使用してください。砂利は2~3cmの厚さになるように敷きましょう。水草を植える場合には、砂利を5cm程度にします。

■飼育用付属器具 水槽は必ず専用台に置いてください。



小さな金魚は、外掛けフィルターを使用した小型水槽でも飼育できます。

金魚のなかま



✓ チェックリスト

- 水槽(金魚鉢)
- エアープンプ
- フィルター
- ふた
- 水槽用ライト
- 塩素中和剤(カルキ抜き)
- エアーストーン
- 水温計
- 保温器具
- 観賞魚用砂利
- アクセサリー
- そうじ用品
- フィッシュネット
- エアータブ

金魚の飼い方

Q. 金魚を丈夫に育てられる？

YES!

A. エサの与え方や水の交換などの正しい基礎知識を覚えましょう。



- 金魚を飼うために必要なこと
- 飼育用具
- 金魚のなかま

※画像はイメージです。

やってみよう!

準備はできましたか? 飼育に便利な道具

- 水槽(金魚鉢)
- 水槽用ライト
- 保温器具
- フィッシュネット
- エアープンプ
- 塩素中和剤
- 観賞魚用砂利
- エアチューブ
- フィルター
- (カルキ抜き)
- アクセサリー
- エアーストーン
- ふた
- 水温計
- そうじ用品

STEP.1 水槽の準備

■水の準備

水道水は殺菌剤として塩素(カルキ)が含まれているので、塩素を取り除きます。水道水をバケツやたらいに入れ、1~2日おくと無害な水になります。直射日光に当てるのも効果的です。カルキ抜きを使用することで、塩素が中和されてすぐ使えます。また水をきれいに保つために、ロカバクテリアを適量入れておくと良いでしょう。ロカバクテリアはフンや食べカスなどを分解してくれます。

■水槽と砂利を水洗いする

水槽と砂利は、あらかじめきれいに水洗いし、置き場所を決めてセットします。その後塩素を中和した水をゆっくりと水槽に入れていきます。
※水洗いの際、洗剤はつかわないようにしましょう。

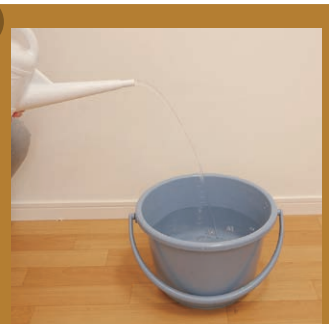
■くみ置き法



ワンポイントアドバイス

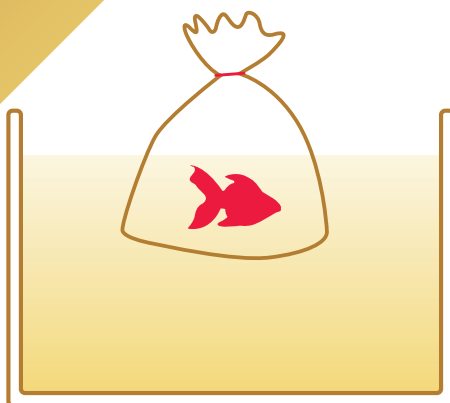
水をくむ時は

水をくむ時は、ホースやじょうろなどでなるべく高い位置から水を落とすと、塩素がより早く抜けます。

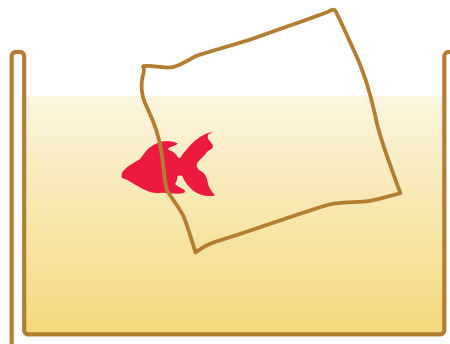


STEP.2 水槽への放し方

家に持ち帰った金魚などを急に水槽の中へ放してはいけません。金魚飼育の適温は15~28℃と範囲は広いのですが、急激な温度の変化には弱く、わずか4~5℃の変化でも死んでしまうことがあります。



金魚などの入った袋をそのまま水槽に浮かせておきます。水温にならすため30分以上おきます。



袋の水を2/3ほど捨ててから、水槽の水を少しずつ袋に入れ、袋を沈めて金魚などを放します。

STEP.3 エサの与え方

エサは1回4~5分で食べ切る量を1日2回与えます。



注意

- ①夏場は食欲が盛んな時ですが、エサは与え過ぎないようにします。
- ②雨天の日や冬場水温の低い日は、エサの量を控えてください。

STEP.4 水の取り替え

金魚鉢など小型の水槽の場合は、1~2週間に一度水を交換します。ろ過器のある水槽の場合は、1か月に一度程度、水の1/3くらいを交換すると良いでしょう。全ての水を入れ替えることは避けましょう。また水の入替えとフィルターのそうじを同時にすることも避けましょう。金魚などを別の容器に移す時は、網で移すと魚に傷が付くことがあるので、小さな容器に水を入れ、そこに網で追い込んで移すようにしましょう。

水質の悪化の徴候

- ・ほとんどの魚が水面に集まる
- ・水が乳白色に濁る
- ・水面に泡が見られ、なかなか消えない



水質の悪化は、金魚の病気の原因にもなります。定期的な水替えを行い、きれいな水を保つようにしましょう。



コケを落とします。そうじ用ポンプを底面に向け、片手で砂利を掘り返し、ごみをとりながら排水します。



くみ置きやカルキ抜きで中和させた水を入れ、水温を調整してから静かに足します。